



# 高橋ゆうこ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## エアポートシティの形成へ 交通ネットワーク構築 将来需要の予測調査

高橋祐子県議(富里市選出、2期)は2月定例県議会予算委員会で総括質疑に立ち、成田空港周辺地域の交通ネットワークの構築、県内の園芸産地の強化、外国人児童生徒への日本語教育などについて熊谷知事ら県執行部に施策を尋ねました。

千葉県は国内第2位の切り花生産地ですが、高橋県議は海外への切花輸出について質問し、温暖な気候や空港を有するなどの優位性を活かして、輸出強化に取り組んでほしいと要望しました。高橋県議の質疑と県執行部の答弁を紹介しました。

### 2月県議会予算委員会

高橋委員 空港の更なる機能強化の効果を、富里市を含めた周辺地域に広げ、暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティの形成に向けては、産業拠点の形成と併せて、まちづくりの一環として交通ネットワークを構築していくことが求められる。

そこだろうかすが、今年度の空港周辺地域の公共交通ネットワークに係る検討について、取組状況はどうか。

総合企画部長 今年度実施した調査では、成田空港周辺9市町の住民や空港内

事業所の従業員などにアンケート調査を実施し、地域の移動実態などの把握に努めるとともに、公共交通利用に関する将来需要の予測を行っています。

加えて、これらの結果を踏まえ、「まちづくりの方向性も見据えた、将来の地域公共交通ネットワークの方向性」パーク&バスライドの候補地となり得る交通結節点などの検討を進めているところです。

高橋委員 来年度も、空港周辺地域の公共交通ネットワークに係る調査費が要求されているが、その取組

方針はどうか。総合企画部長 今年度の調査結果などを踏まえ、検討を更に進めるため、「空港内外の従業員や周辺住民等の移動需要に対応する観点から、空港ターミナルと生活拠点及び産業集積地を結ぶ運行ルート等の検討」こうした運行ルートの実現可

### オンライン日本語指導 集中受講で成果

高橋委員 オンライン日本語指導のモデル事業の内容はどうか。

教育長 オンライン日本語指導は、日常生活で最低限必要な日本語の理解が十分でない中学生が、1か月から3か月程度の間、専門的な知見のある講師によるオンライン授業を受講するものです。

今年度は、8市町16校で活用しています。

高橋委員 オンライン日本語指導のモデル事業の効果はどうか。

教育長 受講した生徒が在籍する学校の教員からは、日本語能力に応じた指導を集中的に受けることができ、

能力や運営主体の検討などに必要となる事業収支シミュレーションなどを行う予定です。これらの調査結果を活用しながら、交通事業者や空港周辺市町との協議を進め、エアポートシティ構想が目指す、国際的な産業拠点の形成や、それを支える

生徒の「聞く・話す・読む・書く」といった基礎的な日本語能力が、いずれも大きく向上したとの声がありました。

生徒からは、同世代と一緒に日本語を勉強することができ、とても励みになったという声がありました。

高橋委員 引き続き、市町村教育委員会と連携を図り、児童生徒のニーズや学校現場の実情を把握しながら、日本語指導体制の充実に取り組むよう要望する。

地域づくりにつなげてまいります。高橋委員 公共交通に係る検討をしっかりと進めていただくよう要望する。

●県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

## 高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2  
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

県の施策について質問する高橋祐子県議



### 高橋ゆうこプロフィール

#### 経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校附属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年、27年富里市議会議員(2期)
- 平成31年千葉県議会議員当選
- 令和5年千葉県議会議員当選

#### 現職

- 県議会 農林水産常任委員会委員  
予算委員会委員
- 千葉県環境審議会委員
- 自民党千葉県連副幹事長

# 落花生導入150周年

**高橋委員** 千葉県落花生導入150周年事業について、どのような取組をしているのか。

**知事** 落花生導入150周年という節目を契機に、歴史ある「落花生文化」を次世代につなげるため、様々なイベントを開催しているほか、一緒に事業を盛り上げていただけるパートナー企業等を募集をしています。

また、今後は、春の種まきや秋の収穫などの栽培体験会を行うとともに、9月には八街市で落花生まつりなどのイベントを開催するほか、SNSなどを活用した落花生の魅力発信や、千

# 多様なイベント開催

葉ならではの食べ方や楽しみ方を提案するプロモーションを実施していく予定です。

**高橋委員** 本事業のパートナー企業等について、登録状況はどうか。

**農林水産部長** 現在、56社の企業等が登録しており、それぞれの独自のイベント等で記念ロゴマークやのぼりを活用するなど、150周年事業を盛り上げていただいています。

さらに、4月に旭市で落花生に関するマルシェが開催されるほか、落花生商品の開発を行うといった取組も予定されています。

# 共同集出荷貯蔵施設 A-1利用にも経費助成

**高橋委員** 園芸産地の強化に向けた取組についてうかがう。産地の高齢化が進む中、農協などが運営する共同利用施設の機能強化を図ることは大変、重要なことだと考える。

**農林水産部長** 本事業は、国の事業を活用して、老朽化した集出荷貯蔵施設等の共同利用施設の再編等に対する取組に必要となる経費に對し助成するものです。

例えば、効率的な管理・運営を行うため、複数の既存施設を再編集約する取組や、老朽化した施設の改修と併せて、A-1を利用するなど機能向上を図る取組等が支援対象となります。

**高橋委員** 共同利用施設の再編集約・合理化推進事業について、どのような支援を行っているのか。

**農林水産部長** 本事業については、国が2分の1を補助することとされていますが、再編整備が加速化するよう、公益性が高い事業については、県としても、国と協調して最大3分の2まで高上げし補助する予定です。

# 北京や上海の店で 県産切花のフェア

**高橋委員** 千葉県は温暖な気候や首都圏に近い立地を活かし、ユリ、カーネーション、ストック、ガーベラ、トルコギキョウ、サンダーソニアなど多様な切花を大規模に生産している。

「千葉県農林水産物輸出活性化取組方針」では、切花が航空輸送に適した輸出ポテンシャル品目と位置付けられ、県内生産者や団体と連携し、販路開拓など輸出促進に取り組んでいると承知している。

そこがかがうが、昨年度の切花の輸出への取組はどうか。

**農林水産部長** 県では、令和6年度は、日本からの切花の輸出額が世界第1位であり、マーケットが拡大している中国向けに、輸出事



県担当者の答弁を聞く高橋県議

# グラムにも輸出し好評

**高橋委員** 今年度、県は切花の輸出にどのように取り組んでいるのか。

**農林水産部長** 今年度も引き続き、中国において現地ニーズの高いサンダーソニア等のプロモーションを行ったほか、新たな輸出先として、グラムに対して13品目、約3千本の切花を輸出し、バレンタインデーに合わせてフェアを実施しました。

現地では、購入者から非常に好評で、ユリやストックが完売するなど手ごたえを感じたところです。

**高橋委員** 切花の輸出について、県は今後どのように取り組んでいくのか。

**農林水産部長** 本県は、切花の産出額が全国第2位であるとともに、国際線のネットワークが充実している成田空港を有するなど、切花を高鮮度で海外へ輸出できる環境が整っています。

これまでの事業を通じて、本県の切花について、現地の需要が高いことが確認できたことから、引き続き、輸出事業者や生産者団体等

# 成田空港内の観光情報窓口 1カ月300件の問い合わせ

**高橋委員** 観光情報窓口における利用状況はどうか。

**商工労働部長** 窓口では、令和6年9月の設置以来、千葉県観光に関する問合せは1か月あたり約300件あり、英語での問合せは全体の75%を超えている状況です。

問合せエリアについては、多い順に、成田空港周辺が40%、浦安や幕張などの湾岸エリアが15%、房総半島が14%、銚子・九十九里が14%となっています。

また、問合せ内容については、飛行機乗り継ぎの空き時間に訪問可能な空港周辺の観光地情報のほか、県内の日本文化体験や日本食、温泉などの情報を求められることが多くなっています。

**高橋委員** 引き続き、訪日外国人のニーズに応じた県内観光地の案内を行い、本県の良さを知らないまま素通りしないよう、積極的に誘客を図るようしてほしい。

**要望** 位置を活かし、切花の輸出強化に取り組んでもらいたい。

また、生産者の経営の安定に向けた支援を要望する。

**高橋委員** 県の優位性を活かし、切花の輸出強化に取り組んでもらいたい。

また、生産者の経営の安定に向けた支援を要望する。

そこで、来年度は、こうした手荷物預かりサービスについて、県内での普及促進に取り組み、県内観光地への誘客に繋げてまいりたい。

**手荷物預かりサービス 観光客取込みへ拡大を**

**高橋委員** 手荷物預かりサービスの普及促進に取り組む目的は何か。

**商工労働部長** 県の観光情報窓口では、手荷物の預かりに関する問合せも多くなっています。しかしながら、県内の観光地では利用可能な手荷物預かりサービスが限られていて、そのことが特に成田空港周辺地域において、観光客を十分に引き込めない原因の一つと考えています。